明治四十四年一月十五日發行
毎月一回十五日發行

婦人新報

第百六十三號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十三號

目次

○社説

○新年の所感　矢島楫子

○時事問題

△和歌山市會に於て廢娼案可決す

○幸福と健康　ヘンデルソン夫人

○ビールは決して無害の飲料水なるか　醫學博士　片山國嘉君

○教育

△誤まりたる教育の實驗　郁文館學監　高橋香松君

○平和事業

△不良學生の犧牲となりし健兒　渡邊當子

○家庭欄

△家庭衛生上注意すべき一つ　大學病院内　丁、丁、生

○教へ草

如何にせば全き人になるか　大關和子

○東京愛婦社　白井俊一君

○内外通信

大坂、弘前、宇都宮

社告

◎婦人新報定價(郵税共)

一部(前金)　金六錢

六部(前金)　金三十五錢

十二部(前金)　金七十錢

(郵券代用一割増)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十四年一月十四日印刷

明治四十四年一月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ

編輯人　横倉ヒデ

發行所　東京市本郷區蓬萊町六番地　婦人新報社

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 163. November 1910

WOMAN'S HERALD.

1. Work for the Peace. Mrs. Yajima.
2. Current News.
3. Happiness and Health. Mrs. Handerson.
4. Beware of "Beer." Dr. Katayama.

Scientific Temperance Dept.

History of the Peace Society.

Home Dept.

Live in "New life"

Airin Sha.

6 Home Dept.

W. C. T. U. News.

Headquarters, Jōhku, Osaka, Maibashi, Hirosaki, Utsunomiya & Sakai.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十三號

（明治四十四年一月十五日發行）

社説

○新年の所感

矢島楫子

△時代を考へざる可からず

古るい年を送つて新らしい年を迎へるときには、誰とても様々の感が起るものであります、私は新年お芽出度いと云ふ感よりもまづ來らんとする時代、如何なる時代であらうかとの感が起ります、私共の活動は時代の要求と供はなければならぬのである。顧れば昨四十二年は、實に消極的の方面にのみ力を盡しました、團體の經營に少なからざる苦心をいたし、彼の悲惨なる水害罹災民の爲めに、私共は各自出來る丈の救助を與へ之が爲めには何ものをも顧みなかつた事も月餘てありました、然しこれは私共が自分で消極の方面に向つたのでなくて、非常時の事情がそうさせたのであります。

今年は私共は如何なる方面に働かねばならないか、慥かに時代は積極的の活動を求める事であらうと存じますが、兎も角も私としてはまづ活動の地盤を固める事が今年なすべき義務であると確信いたして居ります。

されば私は此正月の僅かの休を利用して、私共の事業の實りの好ましくある樣に、まづ種をおろすべき畑地を完全になす目的を以て、地方會員の訪問に勤める事にいたしました、會員を個々別々に歴訪して動かす事の出來ない矯風主義の根本を紹介するのは今日の急務であらうと思ひます、それから今一つは今年は特に私共は

△平和を標榜する事

てあります、年は怒り猪の元氣旺盛にはねまはると云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ年でありますが、私は心平穏に狂はず怒らず平和の旗を翻しつゝ進むべき年であると思つて居ります、深い眠りに陷つた動きのない平和ではありません、嵐の前の海面のやうなやがて狂い出す平和でもない、底までも澄み渡る静かな波に長閑かに眞帆白帆を吹風に送る鏡のやうな、しかも亂れぬ波の漂を限りなく送るそれのやうに、絶えるまのない活動を以て、平和の社會、平和な人生を喜ぶ爲めに働きたいと思ひます、私共はまた之と同時に

△知識を養はねばならぬ

假令畑地がよくあつても、心が平穏であつても、知のないやり方をしては何も用をなさぬ事になります、私共は神様から盡きない知の泉を與へられて居ります、汲めば汲むほど清い流が迸しるのであります、神を知るは知の初めなりと昔の聖人も申して居られます、己を知り神を知る丈の知があるならば如何なる事があつても、平然として自分の使命を果す事が出來ます静かに考へ、默して慮りて凡ての事に當る覺悟を今年の初めから持ちたいと思ひます。

○時事問題

△和歌山市會に於て置娼建議案可決す

前號に於て私共は群馬縣知事の大英断を賞揚して、廢娼に盡力せらるゝ諸君の福音として記しましたが、此喜びは直ちに和歌山市に起りました事件によつて悲しみに葬られんとして居ります、然し私共は信じます、和歌山縣知事も又神山氏と同意見なる事を、今其建議案なるものを見るに、其理由とする處まとに薄弱にして、識者の一笑に附するやうな氣の毒千萬の建議案であります、重なる理由は和歌山縣の小邑新宮其他一二ヶ所の僻地にさへ、公娼の設置あるに、多大の人々を有する縣下第一都會和歌山市に之なきは其當を得たるものではない、また市の財源を計るには云々と云ふ如きに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、諸君は別項其建議案なるものを見てむしろ噴飯せらるゝ事でありませう、公娼なきの和歌山市民は何故立つて此愚案を撲滅せられないのでせうか、市の體面を保ち容易に得られざる今日までの榮譽の爲めに奮闘せられぬのであらうか、我に自由を與へよ然らざれば死を與へよと叫んだ、その熱誠の精神は和歌山市民にはないのであらうか、人類の自由の爲めに蹶起する志士が乏しいのであるか、否弱くしてしかも強き吾が矯風會員があります、其聲に應じて慥かに之を勵まし助くる上帝があります 私共と主義を同うするの諸師此件の爲めに同情を表し祈られん事を

●置娼建議案

昨日の市會に提出せられたる置娼建議案左の如し

別紙建議案提出致候條市制第四十條に依り市會御開催相成度此段及建議候也

明治四十三年十月三十日

和歌山市會議員大垣孝、六角工造、中村市郎右衛門、中村義忠、秋津正次郎、田井金藏、木本直吉、瀬戸市次郎、小倉勇助、橋爪源助、糸川善之助、林利兵衛、佐武淺之助、田中彌三郎、津田藤磨、河野清、内田總次郎、芳賀敬

和歌山市會議長代理者　北島七兵衛殿

建議書

和歌山市に遊廓地區を指定し公娼營業認可處分の縣令を速かに發布せられんことを庶幾す

右市制第三十三條第三項に據り及建議候也

理由

右府縣市町村に現在公娼を置かざる所最も稀なり曩に和歌山縣會は公娼設置の建議を爲すや當時知事は其建議を採納し置娼を認可する市町村を指定し之を縣下に公布せり爾來新宮町大島村糸尾村に遊廓地を指定し置娼を公許せり然るに和歌山市は前記町村に比較し遙かに優等の都會なれば其設置を最先に許可せらる可きは當然の措置するに拘らず五ケ年を經過せる今日未だ遊廓地區の指定すら之れなきは縣規の均一を關ぎ且つ都部顚倒の嫌ひなき能はず且又衛生上風儀上經濟上に於て大に遺憾とする所なり抑も公娼設置は既に縣規たる以上は具の利害得失を辨疏するの要なきも我が和歌山市に此設置の急切を呼號するに於て豈又其理由なからんや、近時我が市に於ける商工業の發展に伴ひ人家は益々增築し人口は彌々增殖し買客は頻繁に出入し之れと共に男女勞働者又增加し且交通機關の發逹と風光明賭の勝地と相待遊客四時に來り者しく膨張しつゝあるは慶すべきと雖も社會の裏而は一種弊害の纏綿するを免れず即ち公娼の設置なきを以て淫風之れが增熾なきに乘じ全市を包圍し其の弊良家の子女を誘惑し淫蕩に墮落せしめ或は淫賣婦が傳播する花柳病の流行等より胚胎する害毒牽て道念の滅亡となり又裂産力の衰頽となり其の結果公私に及ぼす影響蓋し斷少なずとせず今花柳病に對する内務省令を見るに其の豫防上如何に苦心慘憺せるか思ひ半ばに過ぐるものあり省令に曰一娼公に對し自衛上毎回豫防洗滌をなさしめ半ケ年若し

くは一ヶ年入院せざる者には賞與を與ふる事乃至其の五に曰く藝妓仲居淫賣婦の習あるものは假借なく檢事檢診する事夫れ斯如省令は總て花柳病豫防上につきては公娼に對し實施の易くして公娼以外のものに對しては其容易ならざるを知ると同時に彼等が病毒傳播の潜勢力如何に激甚なるか省令の歴々其の跡を逗むるを認むるに難からず固より衛生上風儀上共に理想的設備に依り之れが完璧を期するを希ふ所なるも奈何せん國家の權力を以て之を爲するも尙能く及ざるの憾み爲しとせず況や限りある市の能力に於てをや須らく公娼を置き衛生風儀の矯正に資せざるべからず然るに其枝葉たる新宮町大島村糸尾村に公娼を設置し其の根幹たる我が和歌山市に獨り置娼を許可せざるの理あらんや是れ本建議案提出に及ぶの要旨也

明治四十三年　月　日

和歌山市會議長　北島七兵衛

和歌山縣知事　川上親晴殿

○幸福と健康

ヘンデルソン博士

幸福よ汝の叫びなければ世は悲しみに滿てり
健康よ汝の調子狂ひなばまことの幸福を得る能はず

ウヰルカックス

幸福は現世に神から與へられた賜物であつて、また吾人人類の心中にあるものである、人は生れながらにして、此幸福てふ權を與へられて與へられた凡てのものゝ中にては最大の恩惠である、ポープは人生最後の目的は幸福であると申して居る、然し悲しい事には幾代の間此幸福なる眞の意義を誤解されて居つた、幸福は第二の存在に於て初めて得られるもので、現世にある夢の如き凡てのものは皆惡に導くものである、甚しきは不正不合理なる幸福が天稟のされてあるかの樣に心得て居つた、人間はもと罪に汚れる傾向を以て生れたものだ、されば幸福も罪惡のうちに得られるものだ、人間の身體は自然に暗黒面に向つて進んで行くものだと思つて居つた、されは身體の健康は調和、勢力、德性、希望、快樂の源なる事などは知らなかつた、然れば凡ての罪惡ハ器具として自分等の身體を出來得る丈腐敗さした、然し今日では衛生道德の觀念も發達して來たから昔のやうな馬鹿〳〵しい思想を持つて居らぬが、尙ほ其身體を不義、不正の快樂の道具として居る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人は、今日と雖も數へられないほどある。（次號）

○ビールは將して無害の飲料水なるか

醫學博士　片山國嘉君

この心臓病、殊に脂肪の多くなる爲めに心臓の働きが鈍ぶるとか、心臓の運動が高まッて呼吸切れがして歩けないと云ふのは、酒の爲めに心臓の惡くなつたと云ふ結果であります、それから腹部の方て云ひますれば胃カタル腸ヨタル是れは酒飲みには普通てす、それから肝臓病、肝臓に脂肪が溜つて非常に大きくなるけれども、後には普通の肝臓より收縮して小さくなる、或は堅くなつて外から觸つて見ると中が岩のやうに堅くなつて居る、斯くの如く飲酒の結果は肝臓が大きくなつたり、堅くなつたりするやうな病氣を起します、それから腎臓の病氣も起ります、殊に此心臓と腎臓の重に侵されるのはビールの爲めてあります。

一寸茲てビールの事を申上げて置きますが、「ビール」は外の酒よりアルコール分が少ない、又幾分か蛋白質抔も入つて居りますので「ビールなら」宜い、ブランデーや日本酒抔はいけないが、ビールなら宜い、「ビール」には滋養分があると云つて飲む人が大分あります殊に獨逸へ往て來た人は「ビール」を酒の中に勘定せぬ、マア水同樣に見てガブガブ飲みます、獨逸人自身も多くサウ云て居る、なアに「ビール」は酒ぢやアないいと云て平氣て小供に迄飲ませる、即ち「ビール」はアルコールを含むとの少い酒て、害のない滋養分のある良い飲料てあると云つて誇つて居つたのてあるけども、是は大なる誤解てあつて、今日獨逸に於ては其所謂害のない滋養分のある好飲料なりと誇つて最も餘計飲む地方に「アルコール」の中毒が一番多い、即ち獨逸の中て「ビール」を一番飲むのはバイエルンミンヘン邊が最も盛な處てあります、其バイエルンは獨逸國中て「アルコール」中毒の一番多い中心となつて居るのてあります、從て心臓或は腎臓等に「ビール」の爲め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に起る所の病的變化の患者が澤山あるのてあります、サウ詳しく見ないても一寸見て是れは麥酒心臓、是れは麥酒腎臓てあると云ふ一種の言葉さへあつて、是れはバイエルンの産物になつて居るのてあります、斯う云ふ病は以前は殆どなかつたのてすが、「ビール」水同樣に飲む結果として、斯くの如き病を生じたのてあります、獨逸人は凡そドレ位の「ビール」を飲むかと云ふに、十五歳以上の男だけに就ての平均を見ますと、一人一日に四八コンマ幾ら立方センチーメートル以上の純アコールを飲と同じに當るのてあります、無害有害の境は極められませぬが、假に三十ガラムを無害としても、獨逸人が平均の麥酒飲料は其三倍に近いのてあるから、無害の境を超えて有害の度合まても飲て居ます、夫れが爲めに今まて宜いと思つて居つた所の「ビール」の害が今日非常に現はれて來たのてあります或獨逸の學者は、此廿紀世に於て最も我々が熱心に戰はなければならぬものは何てあるかと云へば「ブランデー」てもない「ウキンスキー」てもない、ビールてあると」斯う云て居ります、薄いから宜い薄いから宜いと云つて、安心して居のは、却て害の基てあります（國の光）

教育

誤まりたる教育の意義

郁文館中學學監　高橋香松君

私共學校の立場からして、生徒の父兄に、望ましいと思ふ事は隨分澤山あるが、今日の社會の狀態が學校教育と云ふ者に對して、餘りに沒常識てもありまた無頓著てもある處から、色々と要求しても却て迷惑のやうに感せらるゝ傾が多い、而して何ても學校と云ふ處は學問丈を敎ゆる處て、品性の陶冶と云ふやうな精神的教育などとは、教育の目的てはないかのやうに思ふて居る人が十中の七分まてさうてあるやうに思ふてる、されば私共は是非とも少なくも左に揭ぐる三ケ條につきて世の父兄たるものの熟考を促したいと思ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第一教育の目的は如何

第二學校と家庭の聯迷を密にする事

第三遲刻早歸は如何なる弊害を學生に及ぼすか

前にも申した通り教育の意義を根本から誤まつて居るのであるから、何でも子女を學校へさへ托して置けば萬事自分の子女に對する教育上の義務が盡してあるとして居る、而して社會の人の多くは

吾が子の教育（轉學を何とも思はぬ）

と云ふ點には實に不注意である、それは何で分るかと云ふと、子女の轉學を何とも思はぬのである、學校に於ける學術の成蹟がよくない爲めに落第するやな場合がある、か樣な時には小供は友人の手前學校の教師の手前恥かしいから他の學校に移りたいと云ふ、其時親は充分其不心得を悟して以後警戒を加へてやるのが當然であるのに、殆ど落第しては當人も同窓の手前苦るしいだらう、それではこゝ轉校したがよいだらうと云つて他に校席を移すのを平然とやつて居る、教育と云ふものを何と心得て居るのであらう、實に言語同斷であるそれて、却て學校を恨むものもある、自分の子が本當に可愛い、よい人間にしたいと思つたら、一時的の子女の感ずる苦痛を忍ばせまた自分も忍んで、同情を以て奬勵してやるのは至當の事であるに、結果は多くは之と反する、勿論心ある父兄は一層學校に信賴して其子女を訓戒するが、斯樣な人は實に曉の星ほどである、此轉校と云ふ惡しき習慣は、東京市の樣に澤山の學校のある處に盛に行はれる、地方へ行くと此點は幸にも不便だけに餘り感じない、著實な人物を養成したいと學校では一生懸命に勤めて居る有樣父兄が此氣風を無視して輕薄して、耐忍のない意志の薄弱なものにしてしまふ、多分轉學を子女の望むまゝさす樣な父兄は初めから教育問題などには頭が零てあるのであらう。

第二は父兄と學校の親しみが實に薄いのである、私共の學校では時々父兄懇話會をする、斯樣な時に出席する父兄保證人は實に少ない、ことに保證人などの時々無責任なるのには驚くの外ない、學校の教授法や監督に就て何か要求を出す人はまことに乏しい、然れば學校から父兄に對して要求する事もまた輕々に受け取られて居るやうだ、子女の教育に熱心な父兄は時々學校に來て、其子の行狀學術の進歩退歩などを懇々と尋ねられる、また學校に對しても色々な要求がある、學校では實に斯樣な父兄には感謝して居る五百七百の生徒であるから個性を充分に研究する事は至難である處から、遂手ぬかりの事もある、斯樣な場名に父兄の注文なとを得て始めて知ると云ふ事もまゝある、斯樣な父兄保證人のもとにある學生は幸ひである、之に反して注意すべき點がある乍と申して父兄の出席を請ふやうの折には十の中六七迄はまあそんな事がありますかと吃驚して、それではよく申し付けますと云ふやうな不注意極はまる人々がある、他人の子女でさへ我が子の樣に思つて、立派の人間にしたいと時々刻々に心勞して居る教師は失望する事がある、而して子女に戒飾を與へるにも同情ある慈愛なる眞實なるものでなければならぬのに、義務的にする否形式のみに止まる人もないではないやうだ、眞の人間を養成するにはどうしても家庭と學校の打合が充分に出來るにあらずんば、到底好結果を見る事が不可能だ、

第三遲刻と早歸り之れほど學校で困る事はない然しまたこれほど些細の事だと考へて居られる事も少ない、遲刻早歸りが學生墮落の第一歩である事を餘り思ふて居らないやうである、五分や十分位の遲刻がそれほど恐ろしい弊害を學生に與へて居るとは大概の人が心付かぬやうだ、この二つは學生には大々禁物であつて、父兄にとくに此點に注意してもらいたい、遲刻をしたり早歸りをする學生の家庭は、多く不規則である、母なる人が不取締である、學校から數々の遲刻あるを以て注意を與へると、いそがしいとか手足りないとか云ひ譯をされる、また凡てを下女まかせにしてあると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無責任な逃道を造られる、學校に入れらたらどことことても校規を遵奉させる樣に父兄からも注意せねばならぬに、却て其子女が學校が遅刻するとて氣をもんて居ると、十分や廿分位いとて平氣て居るなどは、無常識も甚だしいものてある、

△扱ひ惡き學生は多く不具なる家庭より出づ

昔は隨分亂暴する生徒かあつて、扱ひ上まことに困つた事もあつたが、現今ては亂暴粗暴て困ると云ふやうな事はなくなつた、之は小學校の教育か全國へ渡つて統一せられた結果てあらうと思ふ、さて現今一番苦心しても餘り好果を得ない學生は、放縱に育てられたものかいたはしい壓迫やつまらない僻味を以て生長したものかてある、即ち父親のない子とか、繼母に育てられた即ち一種のひがみをもて自らひねくれた性質になつたものてある、ことに父がなくしかも財産があると來ては惡癖を匡正する事は非常に困難てある、吾儕はなか〳〵やまない、時には情を以てやさしく彼等を訓戒するときには涙を流して前非を悔ゆるものもあるが、また蛙に水のやうに恬として其非を改めないものもある、斯樣な場合には自分はいつも

どん底まで行つた惡少年或は青年を救ふは宗教にあり

と思ふて居る、如何なるものも彼等には何のきゝめもない、唯だ之れは宗教の力の外ないのてある

△學校として不良學生を如何にすべき

今日の學校制度にては官公立とも完全な教育が出來ないと思ふ、生徒數が今日のやうに一校に七八百人と云ふやうでは、なか〳〵に個性を認めて其人に應じて適當の教育をすると云ふ事は出來ない、云はゞ個人の德性を重んじて之を訓陶すると云ふはなか〳〵至難てある、二百五十人位ならば各自の長短を知りて適當に訓化する事も出來ようが、今日では其れがゆるされな

い、從つて不良なものはどし〳〵はねて、善いものばかりを取るやうな勢になる、國家の損失だと思へば個人の値價などは見ない、それで今日では不良學生があれば、他の善良なる學生の犧牲としてどし〳〵除名してしまふ、私は之は教育の意義に反しては居るまいかと思ふ、個人の人格を重んずるなれば、一人でも惡しき道に行かんとするものは救ふてやる筈である、人間を養成する機關なる學校が之を見捨て、いづこにか彼等の行くべき所があらう、甲より乙へ乙より丙へと移つて遂に彼等を迎へる處がないとすれば、彼等は勢自暴自棄の生涯に入らなければならぬ、私は出來る限りは斯樣な氣の毒の子供を救ふ爲めに盡力したいと思ふ、然し現今では一人を救はんとして多くを犧牲にする事は出來ないとて、無慈悲にも何等の前後策と講じてやらずに、除名してしまふ、彼等の如き不良の徒が學校にあるならば、或は其感化もまた恐るべきものがあらう、然し彼等が學校を出てたからとて、空に行くのではない、より大なる社會に入るのである、この社會が此等不良の徒の爲めに、迷惑を蒙り惡感化を受ける事は必ず學校の範圍よりも遙かに廣く深く大きくあると思ふ、學校と社會どちらが大なる團體であるか、世の教育家たるものが不良の子を訓戒誘導せずして社會に其務を願ふ事は臆病の事だと思ふ、曾て私等の學校では不良學生の改善につとめて、却て世の人からあられもない惡評を受けた事がある、實に今の世の人は弱者に對する同情を曲解して居る、手の盡せる丈力の及ぶ限り哀れむべき不良學生を悔改めさせる爲めに苦心するは教育家の任務であらうと私は思つて居ります。（文責記者にあり）

不良學生の犧牲となりし

建兒

獄内の學生へ聖書を贈る

一四五日前の事とか神戸元町壹丁目二三〇番地谷口いとと云ふ婦人より當金澤監獄へ書面を添へて新約全書

丘部を送り來れとかそは彼の學生の決鬪事件の被告人として目下收監され居る油谷、淺野、村川、吉田、宮田の五名へ各自の姓名と自分の姓名を記入して寄贈し來れるものなるより寄贈者の谷口いとは何人なりや不審の餘り照會せるところ其返信によれば彼の決鬪の末遂に死亡したる松本修治の姉にして素々學生同志の喧嘩が嵩じたる事とて怨みも仇もなく少なからぬ日數を獄内に送り居る五名へ同情を寄せ扨てこそ慰問の爲めに送り越せる次第なりとの事より典獄も太く感じ前記五名へ其旨を說き聞かして之を分與せる由なるが彼の第十二學友區より五名のために辯護士を選定せる由をも語り聞かせしかば五名共嬉し涙に咽び居たりしとは然もあるべし―（北陸新聞紙上）

前記谷口いと子と申すは當神戸市浸禮教會又 婦人矯風會の忠實熱心なる姉妹に御座候今回不慮の難により金澤第一中學校に勉學中なりし令弟松本修治氏（十八歳）を失はれ候事は實に同情に堪へざる次第に御座候且つ同家には日夜に修治氏の前途を祈願されし六十有餘歳の老兄姉も有之候事に候へば一層悲慘なる出來事に御座候老兄姉には涙の中にも愚痴だにこぼし給はで、修治は幾多の學生の犧牲となりて殺しゝにあらで殺されし事なれば心の歡びある事なれど相手方の御兩親等の心の底は如何ならん、と申され候、誠に此人にして此子ありとても申すべきか、修治氏が惡友の誘惑を排けて死に至りし剛毅と云ひ又いと子姉が目下入監中の學生に聖書を贈られし愛敵の行爲と云ひ何れも皆主の御旨に出でざるはなき事に御座候、わけてもいと子姉が我が婦人矯風會の會員なりし事は我等一同のかへす〲も誇とする所に御座候、一日同姉往訪の際姉は、先刻此書面を金澤監獄教務所長より頂きましたと―

拜啓未だ御面談を得ず候へども御弟 修治殿今回不慮の災にあひ前途有爲の身を以て慨然長逝せられ候事御災難とは申しながら決して余所事には之れなく深く御同情の至りに不堪候扨て今回彼等五名に對し聖書一部宛御差入被下御芳志の段感 佩 仕 候 御 志 の程惇々

訓諭致し候處彼等も流石に人の子流涕慟哭慚愧の情に耐えず候監内生活の彼等が心裡彼書によりての印象も特に深かるべく之がため却て善縁を生じ申すべきは勿論の事と存候間茲に取敢へず御禮申上候早々敬具

師走拾日

金澤監獄教務所長
教誨師　安藤義導

谷口いと様

加害者よりの書翰

謹啓今度は私等一同若氣の餘り血氣に早り實々に何とも申樣の無き事を致し松本君初め皆々樣に何と申して謝罪致さんやと毎日心配致し居候偖私等在監中には聖書一冊宛差入れ下され貴方樣の御心の御廣大なるには只感涙の至りに有之候私等も本日保釋と成り申し候私は此所に愚筆を以て御禮かた／＼御謝罪致し申候也　敬白

四十三年十二月十三日後九時

油谷藤七

右決闘學生の犧牲となりし松本修治氏は品行方正の學生であつて、實に有望の青年であつた、殺さるゝ數日前前述被告人等が遊廓に行かふと松本氏を誘ふた氏は一言のもとにはねつけて、以後、斯樣な青年が學校に居ては他の學生に惡感化を及ぼすに相違ない、今の中に學校より除名するに若かずと排斥運動を初めた、之を聞いた彼等惡學生は怒るまい事か、早速協議をして遂に放課後松本氏を人里はなれた野原に誘ひ行きて數人て打擲した、松本氏は柔道の素養があつたから隨分防禦したが衆寡敵せずさん／＼袋たゝきされたが、急所を打たれなかつたので漸く宅まで歸つて、今日はよい教訓を與へられた、と別に生命にさわるやうな容子もなかつたが、翌日頃に永き眠に入つた、原因は勿論打撲された結果であつた、この有望な勇氣のある子息を失はれた御兩親御兄弟の御悲憺は察するに餘りある事であるが正義の爲めに逝かれた君を思ひばまた雄々しい事である、神は必ず此の青年の死によつて、多くの善良なる青年を出し給ふ事を信ずる、人生の勝利者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なる松本氏の頭上には永に月桂冠を頂かれる事であらう、

（渡邊常子報）

○平和事蹟

○平和課の必要につきて

人生の最後の目的は即ち平和でありませう、まことの平和を得る爲めには吾人婦人の力を要する事は大であります、私共矯風會員は平和を叫の必要を感じて、玆に大日本平和協會に加盟して、新らたに平和課を置く事を奬勵して居ります、今、平和の事蹟を掲げて參考にしたいと思います

平和計畫は近代の創始にかゝるものでない。已に紀元三世紀の古に於てマーカス、オーレリアス、プローブスは早くも平和を維持するの計畫を立てた。而して又其軍隊を戰爭に用ひない時には、有る有益なる勞働に從事せしめ以て卒伍の健康なる狀態を永く保全しやうと考へた。彼は其先代オーレリプンが少しも假借せざる殘酷を以て毎に兵士の不節制を詰責したると事かあり。絶えず諸種の有益なる勞働に彼等を使役した。埃及に於ても彼は此の豐饒なる國土をして光榮と恩澤に浴せしめんが爲め夥多の大事業を起こして彼等を働かした、即ち羅馬そのものに取つて緊要なるナイル河の航海も亦彼等に依つて改善された。寺院、樓閣、宮殿の如き其他諸種の大建築の如き皆、或る時は大工左官、或る時は鍛冶人夫となつて働きたる兵士の手に依つて造られしものである。

昔ハレニバルは彼の軍隊を怠惰てふ危險なる誘惑より保護する爲めに、彼等に强請してアフリカの海岸一帶に沿ふて夥しいオリーブの樹を植えさせた事があつた。それと同樣の趣旨からプローブスは又夥しい葡萄の樹を以てゴール、パンノニアの丘上を蓋ふべく彼の軍隊を働かした。其當時の記錄によれば此の有名なる二個の領地は全く軍隊の力に依つて開墾し栽培された事が分る。これ等の一個はマウント、アルノと云ふ名

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を以て知られてゐるが。其處はプロープスの生れ故郷なるサーミアムに近い處である。プロープスは特にサーミアムの土地を愛好した。處から、其沼澤多き廣大なる地面に耕耘を施し而して不健康なる狀態より救はんと勤めた。斯の如くにして彼の軍隊は羅馬臣民中の尤も勇敢なると同様に尤も有用なる地位を占めてゐた。

けれども偉人なる者は多く其熱愛せる計劃を實行するに當つて、只管其目的の眞正なるに滿足し、動もすれば物の加減を忘れんとする傾がある。プロープス其人も亦其獰猛なる士卒の稟性と忍耐とを深く商量する事をしなかつた。抑々軍人なる職務の危險は徒怠惰に愉快なる生活を遂げる事に依つてのみ償はるゝもの丶如く見える。若し之に反して其の務が絶えず百姓の如き勞役を以て苦しめらるゝならば、彼等は遂に堪え難き負擔に失神し、此極憤を以て其業を放擲せむとするに至るものである。然るにプロープスの其等に關して無頓着なる事は甚だしく士卒の不滿を買ひしもの丶如く傳へらるゝ。而して軍人の利益よりも人民の利益に一層注意したる彼は、萬國平和の設立に於て常備軍や傭兵の必要を全然除却せんと欲すると云ふ如き空想を發表した。斯かる不謹愼なる意見の發表は彼に最後の運命を與へたのであつた。或る酷熱なる夏の日彼はサーミアムの沼地を排水する爲めに、不健康なる勞働を烈しく强ひたので、兵士達は疲勞に我慢出來難くなつて、不意に其の耕具を投げ棄て各々武器を手に執り非常なる暴動を起こした。危險を感じたる皇帝は日頃仕事の進捗を瞰視する爲めに作られし高き物見の塔の中に避難した。塔は直ちに攻擊せられ而して數千の刄は不幸なるプロープスの身に集つた。兵士どもの憤怒は其れが充分に滿足せらるゝや否や直ちに沈靜を來したが彼等に取り返しのつかぬ己が兇暴を悲しむだ。彼等は己が殘殺せし皇帝の酷しさを忘れた。而して恭しく紀念碑を設立して、王の有德なると數次戰爭に勝利を得たる事を萬世に傳ふべく其工事を急いだ。

佛蘭西のヘンリー四世は十六世紀の頃、全歐洲を通

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じて平和を確立し且つ之れを維持すべく一の計畫を構想した。彼は其隣邦に對して親交を求めたるのみならず。平和の目的の爲めに各國政府が一の條約を締結せん事を奬めた。彼は人類の幸福は決して戰爭から生まれないと思つた。亦其の否むべからざる結果は生命、財產、產業の荒廢であると信じた。彼は戰爭の動機は征服の念慮であること、亦戰爭行爲を以て自己の領地勢力を擴張せんとする國王の企圖は、只流血の慘事を意味するものである事を確かめた。彼は國王等が屢々己れ一個人の光榮と功績の爲めに戰爭を始めんとする事實を悲しむだ。この故に彼は平和を維持し歐洲に於ける勢力常均を保つべく一の同盟を作らんことを主張した。

ヘンリー四世は其時代の一般國王に似もやらず、戰爭に關して卑しむべき野心と利己の念に燃されてゐなかつた。彼は佛蘭西及び全歐の人民を滿足に且つ幸福に致す事を以て其の希望とした。彼は又富に對する世間一般の渴望や無益なる奢侈の蔓延を阻止せんとした。而して農工商業を振興し財政の改革をも企てた。彼の有益なる政策の結果、佛蘭西は繁盛なる國家となり人民は勤勉に且つ幸福なる者となつた。更に自然の結果として佛蘭西は各國に卓越して勢力あるものとなり、ヘンリー四世は全歐を通じて强大なる君主となつた。

彼の所謂「大計畫」の內容は政治的方面宗敎的と方面の二者を包含する。宗敎上に於ては基督敎を保護して異敎徒を排除する事であつた。政治上に於ては全歐の强國を或る一定の箇數に區別する事て、若し此の方案を用ひなば、彼等の何者も他人の領地勢力を羨み恐るゝの理由を有せざるに至ると云ふのであつた。其の內容は亦往昔グリシャに於けるアンフョショニック會議の其れに基き、各國委員より成立せる列國會議の事を含むでゐた。又かゝる同盟を結合し、各委員間の調和を維持し、商業の自由、相互の誓約、宗敎及政治に關する契約を保障するに必要なる一切の法規條例は一般會議に依つて制定せらるべきものとなつてゐた。

ヘンリー四世は此の平和的大運動を實行するに際し、英國のエリザベス女皇に依つて補助せらるゝ事となつた。實に斯かる計畫がヘンリー四世の心鏡に浮べる久しき以前に於て、彼女は其の豐富なる頭腦の中に同一の企圖を描きゐたりしは疑ふべくもあらぬ事實である。けれども此の計畫が實行の中に運ばれる前に、エリザベス女皇は崩御し、ヘンリー四世は暗殺せられた爲め、歐洲列强間に於ける恒久平和の擔保を遅延せしむる事數世紀なるに至つた。今に於て尚其曙光をだに見る能はざるは返へす〴〵も浩嘆の極である。

（雜誌平和掲載）

家庭欄

○家庭衛生上心得べき一つ

肺結核の豫防則

大學病院内　T・T生

肺結核なるものは人類全般の注意を拂はねばならぬ一の傳染病で、古來其豫防方法の研究は醫家の最も苦心してゐる點である、一般の知る如く肺結核の傳染は主として咯啖によるのである、換言すれば一沫の啖が結核患者の口を出る時には其中に何萬と云ふ結核菌を含んでゐるのである、即ち豫防法研究の焦點は咯啖に對する措置の問題に歸着する、最近の雜誌に簡にして要を得たる肺結核の豫防法が記載されてあるから之をこゝに報道する事にする。

豫防法の第一要義は患者自己の公德心を喚び起す必要がある、即ち

一、咯啖に對する注意

患者は自己の咯啖を街路に遺棄してはならぬ、必ずポッケット入の啖壺を用意して其中にてなすべきものである、また病者の最も愼まねばならぬ事は對談の際の如き他人に啖をあびせかける事である、自宅には常に啖壺を備へ置きて其中に唾を入る習慣をつけ其啖壺中には常に水をみたし且毎日其水をかへる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

必要がある、其不潔になつた水の仕末は最も便宜な方法としては便所に棄てる法である、痰壺は其後沸騰水でよく洗滌し更に新しき水で浸さねばならぬ、かゝる方法は患者自己にとりては少して繁雜の嫌があるけれども公德を重んずるものは是非之を行ふ勇氣と義務がなければならぬ。

二、衣類布片類に對する注意

患者使用の「ハンカチーフ」の類は使用後水中に浸しおき、且出來る丈け速かに之を煮沸するが必要である、其他襦袢敷布類も患者の使用後は直ちに之を濕潤せる布片で密に之れを包み他の物と別にして之れを一定の場所に藏しおき之を他の洗濯物類と別に煮沸する必要がある。

三、掃除の注意

室の乾燥した儘掃除をする事は嚴禁である、塵埃は御承知の通り結核菌の附着に便なるものであつて有力なる結核菌の運搬者である、即ち掃除の前には先づ床に水を撒布して掃除を行ひ、使用した布片は水に浸して煮沸する必要がある、道具類は凡て濕へる布片で塵をとるやうにするがよい。

四、換氣法

絶えず室内の空氣を換氣せよ、冬時も夜分も常に窓を閉づる時に小隙を殘しおきその代り患者は充分に蒲團にて被ふやうに注意しておかねばならぬ、此際賊風に對しては充分の防護を講ぜねばならぬのは勿論である。

五、食餌の注意

以上は皆消極的とでもいふ豫防法にすぎないので、同時に甚大の注意を拂はねばならぬのは即ち積極的の方面である、即ち充分なる營養法を講ずるので、殊に結核に對して素因あるものに其必要を認めるのである、食餌としては諸種の說があるけれども畢竟

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

するに其最良なるものは混合食餌である。且やはり一回の量は適度に止め過食は之を避けた方がよい。

六、酒精類

酒精類即ち酒、麥酒、シュナップス、コンニャック、ラム等の濫用は實際危險を伴ふものである、すべて酒精飲用者は結核に對して自體の防衛が薄弱である。

七、牛乳

は常に煮沸後に飲用すべきである、尤も近來の説による時は牛の結核菌は人體内に結核病竈を惹起し得ずとの説に左袒するものが多いのであるけれども、又必ず常に然りとの確説もないのであるからまづ煮沸牛乳を用ゐるを安全なる策となすのである。

八、身體各部の掃除

毎朝必ず全身を粗雜なる布片を水に浸してよく之を搾りて強く摩擦するやうにし、同時に含嗽をなして口腔や咽頭を清淨にし、歯牙を刷掃し爪に對しても充分に注意して垢を去り、沐浴の如きは可及的屢々之を行ひ、食餌攝取前には習慣的に手を洗ふやうにせねばならぬ。

九、

而して結核患者は別の臥床に眠る必要がある。

○教へ草

如何にせば全き人となるか

婦人矯風會衛生課長　大關チカ

○人間は靈と肉との二ツより成立て居ますれば靈肉健全なる物を以て全き人と申ます全き人を造るには靈と肉とをよく養ふにてあります

○靈を養ふには靈の父神の聖言乃ち生命のパンを頂くにてあります

○肉を養ふは申すまでもなく吾人の今日とる處の三度の食物であります私は看護婦といふ立場より生理の大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

體をとき衛生上の御話しを致し度と存じ升

○一人間の身體は骨格及び軟部分より出來て居升骨格は硬骨軟骨の構成せしめて居升軟部乃肉は皮膚、粘膜、筋、腱、靭帯神經結締織脂肪、動靜二脈、淋巴腺、等て造られて居ます而して内臓諸器と共に分間も怠らず自己の職務を盡し生活機能を營みて居るのです

○人體の主成分は脂肪蛋白澱粉、含水炭素、鹽類等でありまして此各成分が氣中の酸素を吸收し生活機能を營んで居ます故に御互様斯く健全を保つて居るのです

○生活機能と申ますは生て居る機てす

○體中の各成分か氣中の酸素をとつて燃燒し體溫を發し、體中の各器械か機くからてすこれを名けて酸化作用又新陳代謝と申ます

○此働きは丁度蒸氣機關車が石炭の燃燒によりて熱を發す車を運轉する如く

○吾人の體は酸化作用によりて體溫を發し全身の器械が運轉し目も見へ耳も聞へ鼻も匂ひ口もきけ、皮膚も調智するのです、而して内臓諸器も働きて、胃腸は消化作用を營み、心臓は悸動によりて血液を大動脈管に送り、全身至る處の組織に營養を與へ、肺臓は呼吸によりて酸化作用を營み、暗紅色の靜脈血を鮮紅色の動脉血に化さしめ再び心臓に歸り、又大動脉管に射出し全身を環流し、燃燒によつて消滅したる組織を充し、肺呼吸により又全身皮膚の呼吸により間斷なく酸化作用をいとなみて居のです

○蒸氣機關も石炭が盡れは燃燒も止み運轉も止る如く人體も營養が盡れは燃燒もなくなり遂に死に至ります

○又蒸氣機關に石炭がありても空氣窓を閉たり、炬燵を閉ぢたといたしますれば燒燃惡るく運轉が止む如く、人體も惡き氣を呼吸をしたり大小便の排泄が惡かつたりすれば遂に健康を害して死に歸します

○然れは私共看病婦は常に此等の點に注意して家內を清潔にし良氣を吸收し身體を清潔にし衣類を清潔、皮膚呼吸を防けさる樣になし酸化作用を完うならしめるを目的といたし升斯くの如く人間の身體は得たり費したりする事に由て生活して居ます

○父神の存在を知らす己れの霊魂の何れより來り何れに行を知らす、義務も知らす功もなく、感謝もせす、祈もさゝけす、不識々々の内に人生の行路を一週し、死しては永遠不滅の霊魂を地中に迷はしむるのでありました、

○明治聖代の今日ては神の恩澤は輝き渡りて居ますれば至る處に學校は立られ、智育、德育、體育の大切なる事を教へられ、霊性の發達するに從つて、神學校は立られ、教會は各所に置れ、霊魂の尊き事、神の御恩澤の豊なる事を直接に又間接に教られて居ます、救世主イエスキリストは吾人に生命を與へんとてあらゆる苦痛をなめ給へ遂に十字架上に釘し給へ肉をさき血を流して生命のパン與へて下さいました我等は其パンを頂いて靈魂の生命を得ました然れば私は昨今死んでも永遠不滅の靈魂は喜び勇んで天父の御許に歸ります

諸氏よ吾人は千万年の齢を保つ能はず天父の御心なくは今にも靈のめさるゝあらんに其時悔ては歸りません一日も早く靈の糧生命のパンを頂きて全き人となり給へ啻に我霊のためのみならず人として信ずべき教であります

我々は母の胎内にやどりてより今日まで恩澤に〳〵を與へられ守らせ給ふ神様に感謝せずして可ならんや

禽獸てさへ其餌の恩を知るといふはんや万物の霊長たる人間に於てをやであります

天父の御存在を知らず行べき道を知らず闇より暗に入らんとは實に愚の至りてはありませんか

罪多き世の中の事のみ汲々せず靜に人生を考へ給へ天地萬物によりて天父の御存在は輝き渡りて居ます

花は笑ひ鳥は謡ひて神を讃美して居ます草木は實を結びて本分を全ふして居ります

天父は吾人の不孝を忍びて悔て歸るを待ち給へます

東京愛隣社

▲久里須滿䂓　十二月十七日執行、清柳教師の司會にて讃美祈禱の後白井主任の挨拶及報告並に精勤生徒八名に褒狀を授與し、小崎令嬢の獨唱、小崎夫人の奨

勵生徒及校友の社歌合唱にて正式を閉ぢ、引續き後藤教師の司令にて第二部に入り六十七番の讃美の後、生徒等左の如き順序により登場したり

△開會の挨拶（山崎淸）△祝文（石井とよ）△暗誦（山下はる、豊島てふ）△朗讀「花と果」（北村かね）△祝歌「梅の小枝」（西嶋いち、毛利しず）△話談「人のなど」（白木ゆき）△朗讀（小さ魚」（高田ちか）△祝歌「聖誕祭の夕」（生徒一同）△對話「一筋のきれ」（齋藤さと、叶井ひさ）△ハーモニカ（山崎淸）△和歌「寒月照梅花」（中島ひな）△對話「四三子と四四子」（高田ちか、毛利しず）△祝歌「このよき日」（一同）△對話「裁縫道具」（西島いち、中島ひな、石井とよ）△贈物配布△報告（白井世任）△讃美歌（四六二）（一同）△祈禱（隅谷教師）△餘興講談「義士傳」（田邊南鶴）

斯體斯生命（東京愛隣社々歌）

一、をやよりつぎし　このからだ――　みがくがために　こゝろあり
かみよりうけし　このいのち――　はたらくために　てあしあり

二、たまのうてなも　しづがやも
人のあたひを　つゆかへじ
さるをさだめの　つれなくて
智のおひたちも　とゞむるよ

三、人にいのちの　あるかぎり
いのちのために　つくしなば

四、いかにいやしき　なりはひも
なにのはづべき　ことやある
ひとごとにわざを　いそしみて
かの天職を　はたさまし
夜ごとにこゝろ　みがきつゝ
人たるみちを　たどらまし

午後八時半閉會、直に例年の如く來賓及校友の茶話會を開き十時散會せり來會者八十餘名、また階下の一室には生徒成蹟品一部を陳列し展覽に供したり、當日の寄附金品等は次號に報告すべし

▲第三學期始業式を　兼ね新年祝會を一月九日に開き藤井、後藤、白井三教師の奬勵あり午後數番の餘興あり茶菓の饗應をなし午後九時半散會す

▲校友會總會　十五日午後一時より開會の筈なり、また同會の事業として一月より「愛の睦」なる報告書を發行することゝなれり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内外通信

○大　坂（前號續）

新任課長

平和課々長　森山のぶ子
傳道課長　二宮わき子
花の課々長　諸方八千代子
慰問課　（緒方吉重子 / 石神八重子）
安息日課　山口陽子

他は從前通り再撰

四十二年度第十一回年會報告

書記　淸水たね

明治四十二年十二月より四十三年十一月末に至る調査

一會員現在數　五百二十一人
　内譯　通常會員（四百六十九人）
　　　　男子贊成會員（五十二人）
一本年中新入會員　八十八人
一同永眠せられし會員　四人
　大阪教會員　田口たか子
　南教會員　里村りか子
　北教會員　大野つね子
　西美以教會員　高林きみ子
一退會及轉會者　九十三人
差引九名減す但し男子にて減す
會員比較表に別に掲示す
一定期集會度數　七回
一月　新年會　　二月　ウイラード嬢紀念會
三月　母の會　　四月　少年少女會
五月　地久節祝賀會　六月　花の紀念會
七月　母の會　　十月　新嘗會
十二月　年會
本年は二月三月大衆傳道にて休會す
一特別集會度數　八回
役員課長委員慰勞會　春秋二會
ホームの友誼入會　二回
ホームのため慈善音樂會　一回
ホーム三周年紀念會　一回
本部大會報告會　一回
臨時懇談會　一回
一臨時總集會　二回
音樂會準備のため、ホーム財團法人協議に付
一役員會　數回
一本會設立年月　明治卅二年五月廿八日
一附屬婦人ホーム設立　同四十年月廿八日
一事務所及ホーム現在地　北區中之島六丁目六番地

一市內敎會の數　廿四ケ所
一婦人新報購讀者數　一ケ月二百二十部
一同　寄附數　一ケ所圖書館へ
一書記より本部へ通信　拾　回

役員姓名
會長　林　歌子
書記　清水たね子　日野原みち子
會計　菊地しな子
特別會計　深澤ふく子　櫻根きな子
ホーム主任　林　より子
書記日野原姉は出產の爲辭任せらる

敎主	十二人	、	、	、	、	、
城南	七人	、	一	、	、	一
復活	七人	、	五	、	、	五
東美以	十八人	三	五	、	、	二
西美以	八人	二	一	一	、	、
東長老	四人	、	、	、	、	、
西長老	九人	、	、	、	、	一
贖主	九人	一	二	、	、	、
安治川	一人	、	、	、	、	、
福音	一人	、	、	、	、	、
東洋宣	一人	、	、	、	、	、
贊成員	五二	三	一一	、	、	七
合計	五二二	八八	九三	四	九	

特別報告（本年度に於ける定期以外の働き）

一昨年八月よりホームの事業は全く社會に對する慈善事業と見做され十二月十三日內務省より生江氏來阪實地調査のためホームに來らる
一四十三年三月廿六日附を以て內務省より左の文意により奬勵金下附せらる

大阪婦人ホーム

慈善救濟事業に關して從來盡力する所少なからず今後倘一層の勉勵を以て其効を修めむことを望む依て金三百圓を下附す

明治四十三年三月二十六日

內務大臣正三位勳一等法學博士男爵平田東助

爾來引續きホーム借財期限滿期につき返濟のため神の大なる祐助を求めつゝ會長始め役員一同熱禱を捧げ來る五月地久節を期とし主なる役員協議の上會員必死となりて社會の有力者に同情を訴へ會員は勿論印刷物を配布して義捐金の募集に盡力せられし結果空しかず豫定の金額は而かも其前夜に於て集り該金を以て全部返還するの好都合に至りしは全く神の偉大なる惠みと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はいへ實に奇蹟の如く思はれて今更の如く嬉し涙にむせび會長始め一同主の御前に感謝を捧げ奉る

一本年八月關東水害に付當時林會長不在中なれば役員協議の上各會員より義捐金を募り聊か同情を表するため集金七十餘圓を本部救濟會へ托す

一豫てホームを財團法人になす事につき協議一決せしを以て六月下旬其筋へ願書提出せり

一十月廿六日附を以て內務省より大阪婦人ホームを財團法人たる事を許可せらる

一十一月二日水曜第二回理事會をホームに開き各々調印の上法人登記をなす

以後毎年十一月及五月の第一水曜日を期し理事會を開きホームに關する財政及諸事を決定す

主任及理事

主任理事	林 歌子	書記	林 より子
理事	石神八重子	理事	今井のふ子
仝	大塚常子	仝	緒方八千代子
仝	緒方吉重子	仝	加古幸惠子
仝	川口たけ子	仝	深澤ふく子
仝	藤本榮子	仝	淺井やす子
仝	安東しん子	仝	菊池しな子
仝	宮崎俊子	仝	淸水たね子

以上十五名

一十一月九日午前五時發車にて林會長並に本部風俗課々長名村雨節左の件につき和歌山へ出發せらる

今回和歌山市會に於ける置娼問題に對し正義派議員柴田太平氏の遭難を慰問せんがため且つ同市に婦人矯風會の設立を祈りつゝ彼地にある信徒姉妹の奮起せらるゝを應援せられたり

花の課々長よりは直ちに慰問として柴田氏に聖書及菓子を郵送せらる

一十一月十三日和歌山婦人矯風會誕生同日發會式につき再び林會長出席せらる

神の攝理のいとも深きを感謝し奉る

婦人ホーム拂込

明治四十貳年十二月より明治四十三年十一月迄

十一月二十六日迄

賴り來し者　三百八十九名

內譯

奉公に入りし者　二百十八名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手數のかゝりし者　百五十四名
車夫の連來りし者　十二名
旅費あたへ歸せし者　四名
入院中　壹名
現在奉公中の者　百十六名
以上

大阪府	廿二	高知縣	七
大阪市	八十一	福井縣	七
京都府	廿八	三重縣	五
京都市	十	鹿兒島縣	五
兵庫縣	五十六	福岡縣	四
和歌山縣	廿四	岐阜縣	五
岡山縣	十七	大分縣	三
奈良縣	十六	愛媛縣	十七
秋田縣	三	廣島縣	十六
靜岡縣	二	滋賀縣	六
石川縣	二	山口縣	十三
香川縣	十一	德島縣	十一
神奈川縣	二	佐賀縣	一
長野縣	二	北海道	一
島根縣	二	宮崎縣	一
鳥取縣	二	愛知縣	一
長崎縣	二	埼玉縣	一
富山縣	一	栃木縣	一
東京府	一		

一寄宿料　六百〇六圓五十二錢五厘
一雇主寄附　二百十二圓八十五錢
一滯在食費　百七十四圓十三錢
一雜收入　九十五錢
合計九百九十四圓四十五錢五厘

明治四十三年十二月三日

一食費　八百廿九圓〇七錢五厘
一事務費　二百四十八圓五十二錢
一救助費　三十圓十八錢
一職員三名月給百九十三圓五十錢
一税金　四十六圓四十二錢五厘
一修繕費　九十二圓二十四錢五厘
一火災保險金　二十一圓
一雜費　四十五圓八十九錢
合計千五百〇六圓八十三錢五厘

ホーム主任　林　依子

明治四拾三年度大阪基督教婦人矯風會決算報告

收入總高
一金一千八百六拾三圓六十一錢五厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内譯

一金五百七拾四圓五十九錢　會費幷に雜誌代
一金百六十三圓貳十錢　寄附金
一金拾圓　貸金
一金貳十七圓貳十錢　大會費幷に義務金として集む
一金貳十貳圓廿錢　地代等
一金七拾貳圓〇五錢　水害地の爲め寄附
一金九百九十四圓三十七錢五厘　ホーム收入

支出總高

一金一千九百八拾九圓一錢四厘

内譯

一金一千五百〇七圓三十七錢五厘　ホーム支出
一金百二十圓八十錢　婦人新報代
一金十七圓八十八錢　花の課費
一金十圓七十七錢　交際課費
一金四圓六十錢　少年課費
一金七十五錢　傳道課費
一金七十二圓　東部書記の手當
一金六十五圓十五錢　事務費
一金三十五圓　雜務費
一金四十圓　大會費
一金十七圓五十錢　大會幷に名古屋行旅費
一金十五圓　本部幷に支部へ寄附
一金九圓九十三錢九厘　昨年度不足返却
一金七十二圓〇五錢　水害地へ寄附

差引百廿五圓三十九錢九厘不足

右の通決算仕候也

明治四十三年十二月十日　菊池しな

新年會

四十四年一月七日土曜日午后二時より大阪教會求義館に於て開く傳道課長二宮夫人病氣のため欠席林會長代りて司會せらる聖書朗讀讃美祈禱につき少年課々長西野姉代青山姉少年課の働として本年は各教會に少年禁酒軍の設立せられん事の有益なる事を勸めらる本部會頭矢嶋先生舊臘より神戸の御宅にて靜養せらるゝを幸ひ當會へ御出席を願ひけれは寒さもいとはす同支部長渡邊姉同伴來會せられ久々皆々共に此美はしき新年に集る事の幸なりとて暫らく感話せられたり其大意は今や基督教は世人に厭はれし時代もすぎ去り最も吾等働き易き時になりたれば大に平和の爲に祈り今年は專ら平和の爲に盡力せんとて亥どしに於る所感の和

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歌を詠吟せられ常に鏡に向ひて己れは誡しむる摸範を示し玉へり

かりにたに心ゆるすないかり猪の
　いかる姿をみるにつけても

三百六十一番の新年讃美歌を唱ひ林會長には「シン子ンカイノタメイノル」といふ二宮課長よりの電報を朗讀せられ尚新年につき教訓を與へられ又本日の題内國傳道の爲に數名の姉妹熱心に祈られ次に神戸支部長渡邊常子姉近頃北陸旅行中の所感吾等は唯此一事を務むといふ標語の下に慥なる主義を以て始終貫徹断えず奮戰して終りの勝利を得ねばならぬ事を懇切に述べられ時移りければとて一同主の祈りを以て一先づ閉會茶菓を喫しつゝお互に祝詞を交して五時過ぎ散會す寒は俄に加はりきびしき折にもかゝはらず六十餘名の姉妹出席せられたのしき新年會を開き得しは誠に神の御恵と感謝に堪えざりき

矢嶋先生は濱寺石神姉方にて御一泊の上堺婦人矯風會及和歌山婦人矯風會へ引續出席せられぬ

年會後新入會員

大阪 羽山れん子　大阪 星野やす子
品　華岡うみ子　川口 上野はる子
川口 岩崎春枝子
〆五名

婦人ホーム報告（十一月分）

一預り來りしもの二拾六名
内現在奉公なすもの　十六名
巡査より頼めるもの　壹名
手數かゝりしもの　五名
現今滯在なし居もの　四名

一婦人ホーム財團法人に關する正證書十二月十六日附を以て日比野公證人役場にて理事調印相濟以來地租免税となる同時に電話開通す番號西三千九百九十番

舊臘廿八日府廳より呼出され出頭せしに今回當地貧産家今西林三郎氏夫人永眠せられしにつき同家より慈善

金千六百圓を寄附せられしかばホームへ分配金として内四十圓下付せられたり年末財政切迫神に祈り求め居りし折柄なれば一同深く喜び感謝して無事目出たく新年を迎へたりき

又同家にてはしのぶ艸てふ小冊誌を殊更に此亡夫人のためものせられ姉か生前の人となり性質且功勞をも記し知己の人々に分ち與へられしが此ホームへも數冊寄附せられぬ吾等之を愛讀して實に峯子夫人の面影を忍ばること共に世にも稀なる良妻賢母と仰ぎ追悼の情益々深かりき

諺に虎は死して皮を殘す人は死すとも名は末代とかや此等夫人をいふにや

弘前

拾一月廿五日本部少年課長守屋東姉來弘に付廿六日午後二時より元寺町教會堂樓上に於て臨時會を開く會長高谷姉の司會にて讃美聖書朗讀乙部とく子姉の祈禱の後會長より守屋姉を紹介せられ直ちに同姉の講話に移る姉は携帶の人體標本に依りて人體構造の妙を示し先づ衛生上より飲酒喫煙の害毒を懇切に説明し酒は諸々の悲しみとあらゆる罪惡の根源なるを實例によりて話さる

即ち有望なる一青年目出度高等學校卒業の際宴會にて友人より、すゝめられたる祝ひの盃は彼の爲め恐ろしき呪の盃となりたる事又初孫の誕生祝に祖母なる人嬉しまぎれに盃ニツ三ツ手にし、ほろ醉となり赤兒を抱きて、コタツに暖まりゐしに何時しか夢裡の人となりたり然るに傍らに居りし産婦は怪しき臭氣に驚かされ見れば赤兒は既に半面を火傷しゐたり嗚呼此樣を見し母なる人は餘りの驚きに其儘歸らぬ人となりぬ酒力は如何程狡猾に人の一身の不幸一家の禍を釀すかと思へば謹むべきは一盃の酒なり嚴正なる禁酒は最も安全なる身の護り家の護り國の護りなるを説かれ其他同姉の興味ある實驗談又は北里、大澤醫學博士方の酒煙草に對する意見など紹介せられ一同大に感益せらる由來當地は東北地方の片偶とて高名なる方々の來訪せら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るゝ事極めて稀なる今日此頃の淋しき時過々守屋姉の來訪を得新たに激勵せられたるは感謝に堪へぬところなり終りて閉會の讃美山鹿いと子姉の祈禱をもて閉會せしは午後四時過なりき當日來會者三十一名一同に「酒嫌になる傳授」數十冊を配付せり

翌日二十七日午後二時より同じく會堂に於て少年隊の爲め講話會を開く隊員の外市內日曜學校生徒等無慮三百名以上にて頗る盛會なりき定刻に至り隊員山鹿八郎氏の司會にて一同禁酒の歌「勝利の日」を合唱し禁酒會々長新內岩太郎氏の聖書朗讀山鹿牧師の祈禱に次いで隊員は誓約暗誦及誓約の歌を合唱し新入會者豊島ひさよ子の入會挨拶あり唱歌十六番を歌ひ高谷姉守屋東姉を一同に紹介し直ちに同姉の講話に移る姉は再び人體標本によりて飲酒喫煙の害毒を簡單明了に示し斯る猛毒の爲めに人の身を過る故諸氏は決して是を口にすべからずと懇切に說き更に蝮の御家と題する唱歌を唱ひ聞かせたり又東京高輪の酒屋の子供が父を諫めて商賣換をさせたる實話より更に太市少年の御伽噺を聞かせたるが少年少女をして一人興に乘じて知らず知らずの間に酒の害を認識せしめ實に有益なる集會にてありき、かくて終りに萬國禁酒少年隊の敬禮を敎へ少年新報を配付し入隊志願者には各兩親にあてたる手紙を頒ち散會せしは午後四時過なりき

◯宇都宮

第一回婦人矯風會

紫雲靉靆眞紅洋々として豊坂のぼる日の光永遠の希望を示して心地よき一月十一日午後一時例によりフライ師歸宅にて婦人矯風會親睦會を開く會集者十六名會長の司會にて讃美祈禱を以て開會色川、長谷川兩牧師の有益なる講話ありし後役員改撰を行ふ當日役員として撰ばれしは左の諸姉なりき

會長　フライ夫人
副會長　木村ツネ姉
會計　赤間ミネ姉
書記　渡邊カツ姉

同日四名の新入會員を加へられしはうれしき極たり

新入會員名

須賀榮子　松川まさ子　高橋かく子
長谷川野代子

慈愛ふかき主の御手に抱かるゝ會員一同老も若きも打ちとけて會長の御手になれる美味な御菓子に舌皷うちならし笑ひつ語りつ一座の興のいつはつべきか知られざれどつきぬ名殘と愛惜しつゝ一同散會せしは四時半太陽西天に没して四方は薄墨のたれ幕に包まれたらん如く群鳥ねぐらに急ぎ家々の夕餉のまとい樂しき頃なりき

婦人新報領收（十一、十二月、一月）

一金五圓　寄附　松尾なつ子
一金二圓（四十四年度迄）岡田みす子
一金十三圓卅五錢（四十三年前半期）相州婦人矯風會
一金八圓八十五錢（十一、十二月分）神戸支部
一金十一圓（十一月分）大坂支部
一金一圓（四十三年迄）楠引さだ子
一金二圓（四十四年度迄）浦　四三子
一金二圓十錢（四十一、二、三年度）杉森梅子
一金七十錢（四十三年度）田中いね子
一金七圓二十錢（十一、十二月分）横濱支部
一金六十錢（十二月分）瀧本みつゑ子
一金五圓三十七錢（四十三年度半期分）田中つる子
一金七十錢（四十四年六月迄）門司支部
一金七圓二十錢（四十三年六月迄）東京聯合
一金十圓（十一、十二月分）麴町支部
一金二圓（四十五年迄）平瀨やう子
一金十三圓二十錢（四十三年度迄）芝支部
一金十圓八十錢（四十三年度迄）赤坂支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

スカダア博士著 竹中悦藏譯 定價金十錢 郵稅二錢

少年基督教問答

原著者は米國宗教界に著名なる教師にして、多年の經驗より本書を著されたり、本書は數章に分たれ、基督教に肝要なる條項は、博きより狹きに入り、概ね之を網羅せり、全篇都て教師と生徒との問答よりなり、之を生徒をして諳誦せしむるを以てよしとす。生徒の答は概ね聖句に據りたれば、聖書を讀むに先立ちて頗る有益なり。啻に生徒のみにあらず、系統的に基督教を研究する機會なき婦人方には恰好の良手引なり。

廣島高等師範教授文學士栗原基譯 定價八十錢 郵稅八錢

ノイマン

耶蘇傳

基督傳にも種々ありて、敬虔なるものは頑固に傾き、研究的のものは奇矯に走る。其中庸を得たる基督傳は最も必要にして、而も最も少かりしものなり。本書の原著者は獨逸にありて教職にあるの人、學究的の研究と、宗教家としての敬虔は美事に本書の中に融和せられる。能く科學と衝突を避け、而も宗教的要求は之を是認して、知的にも心靈的にも、缺くる處なき基督傳なり。而も其記述簡明にして、讀むものを以て一過直ちに基督の面影を知らしむ。

大宮季貞編 菊版五百五十頁▲定價七十五錢 地圖挿入△郵稅八錢

聖書基督傳

基督教の中心はナザレノ耶蘇御自身なり。基督傳を知るは即ち基督教知るなり。基督傳としては四福音書を以て最良とす。然れども各書記事混雜し且文章稍難解なり。本書は之を年代的に綴記して一個の基督傳とし譯語は訂正し、難解の文章は之を和げて婦人少年と雖讀み易き樣に書き直したり。本書は聖書を愛讀せらるゝ方々の座右になくてならぬは勿論の事日曜學校に於て高等科に用ゐる教科書としても頗る適當なり。

文學博士久米邦武卷頭語 福井永頼著

大和民族考

大和民族の起原は一見容易なるが如くにして實は錯雜せり。故に史家も人類學者も今猶臆說を逞うし一々ありて學界は其光明に接せず。本書の著者は多年斯學に心を潜め。漸く其研究の光明を得たり。其結果は即ち本書にして、斯界の大家久米博士の校閲を請ひ、博士より多大の讚辭を與へられたるものなり。

定價三十錢 郵稅六錢

發兌 東京銀座 振五五三 警醒社書店 本郷春木町二 仝支店

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA